



作品タイトル

2人のヒーロー

作者

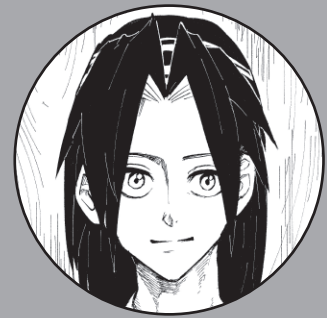
二宮 ユウキ

形式

漫画

作品元の地名

岡山県/岡山桃太郎祭り



●作者について

≫自己紹介

都内の企業で社会人をしながら、商業誌で読み切りを載せてもらったり、賞を狙ったりといった漫画家活動をしています。サンデーとジャンプの作品が好きです。

≫応募のきっかけ

地元岡山を離れて10年経ちますが、今になってあまり地元のことを知らないことに気づいて、もっと知ろうと思ったのがきっかけです。

●作品について

≫作品の解説

岡山県民なら誰もが知る桃太郎まつりの"うらじゃ"踊り。“うら（温羅）”の意味は“鬼”。なぜ、桃太郎の祭りなのに、踊り子は鬼の仮装をし、鬼の踊りを踊るのか。これには、桃太郎伝説の時代から語り継がれる悲しい伝説が関係していた。

≫思い・受賞コメント

このような賞をいただき、誠にありがとうございます。まだまだ反省点ばかりではありますが、ぜひ、桃太郎と温羅の2人のヒーローの物語を楽しんでいただけますと幸いです。

≫審査員コメント



里中先生

桃太郎はこんなに深い話だったんですね。
興味深いストーリー。

無駄なセリフや
展開がないのですんり入り込める。

ステレオタイプ的な
桃太郎を塗り替えてくれる力作。



中村先生



吉村先生

おかやま 桃太郎まつり

おかやま
桃太郎祭り

そのメインイベントは、
「うらじゃ」という演舞。
(うらじゃ)
温羅(鬼)じゃ!の意味)

「桃太郎」祭りなのに
鬼の仮装、鬼の踊り

この奇妙な祭りの
ルーツは千年前の
「とある伝説」に遡る

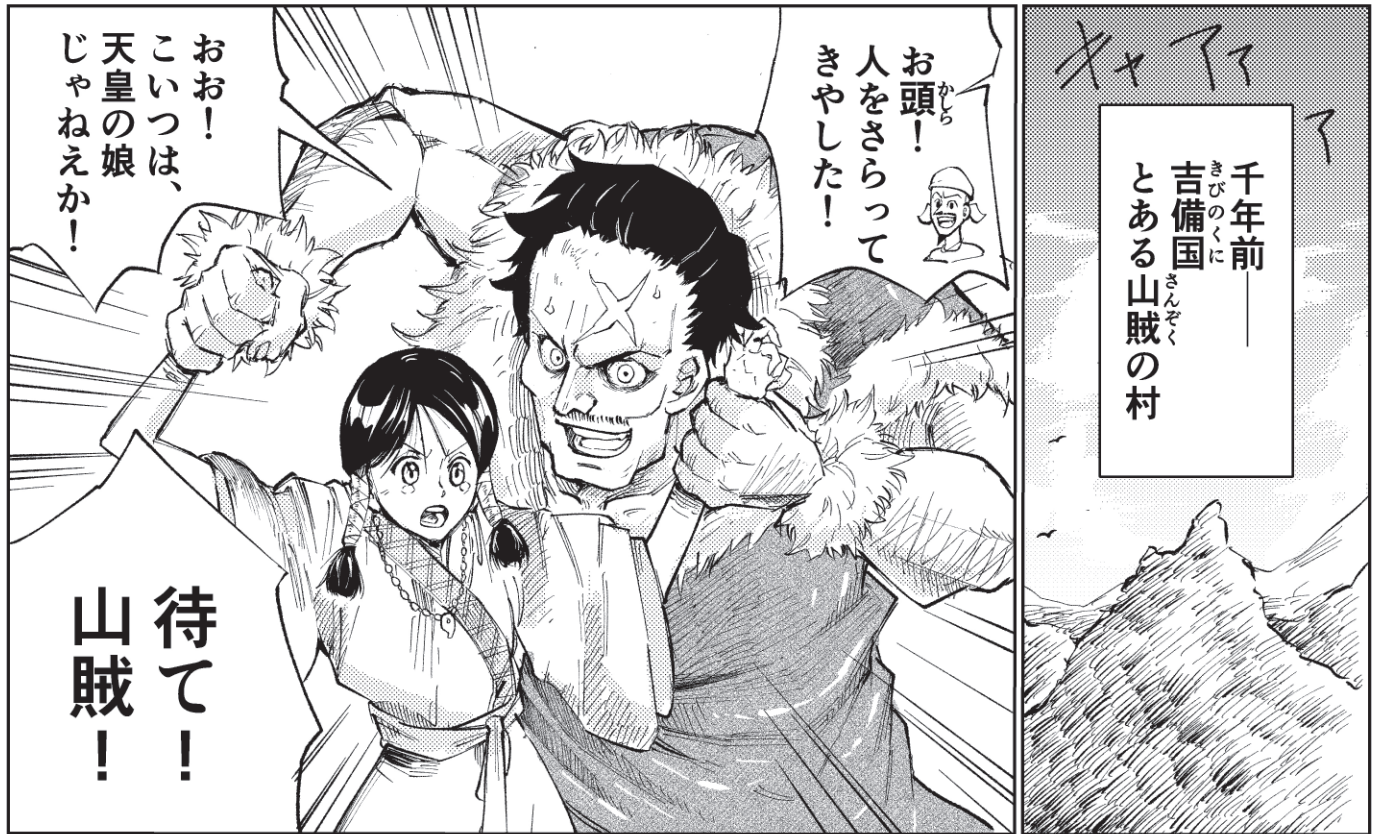
踊り子、裏方、観客
がしているのは、
悪役「鬼の仮装」

大通りで1万人が
演舞を踊る「総踊り」は
庄巻の一言だが、

うらじゃ!

うらじゃ!!

うらじゃ!



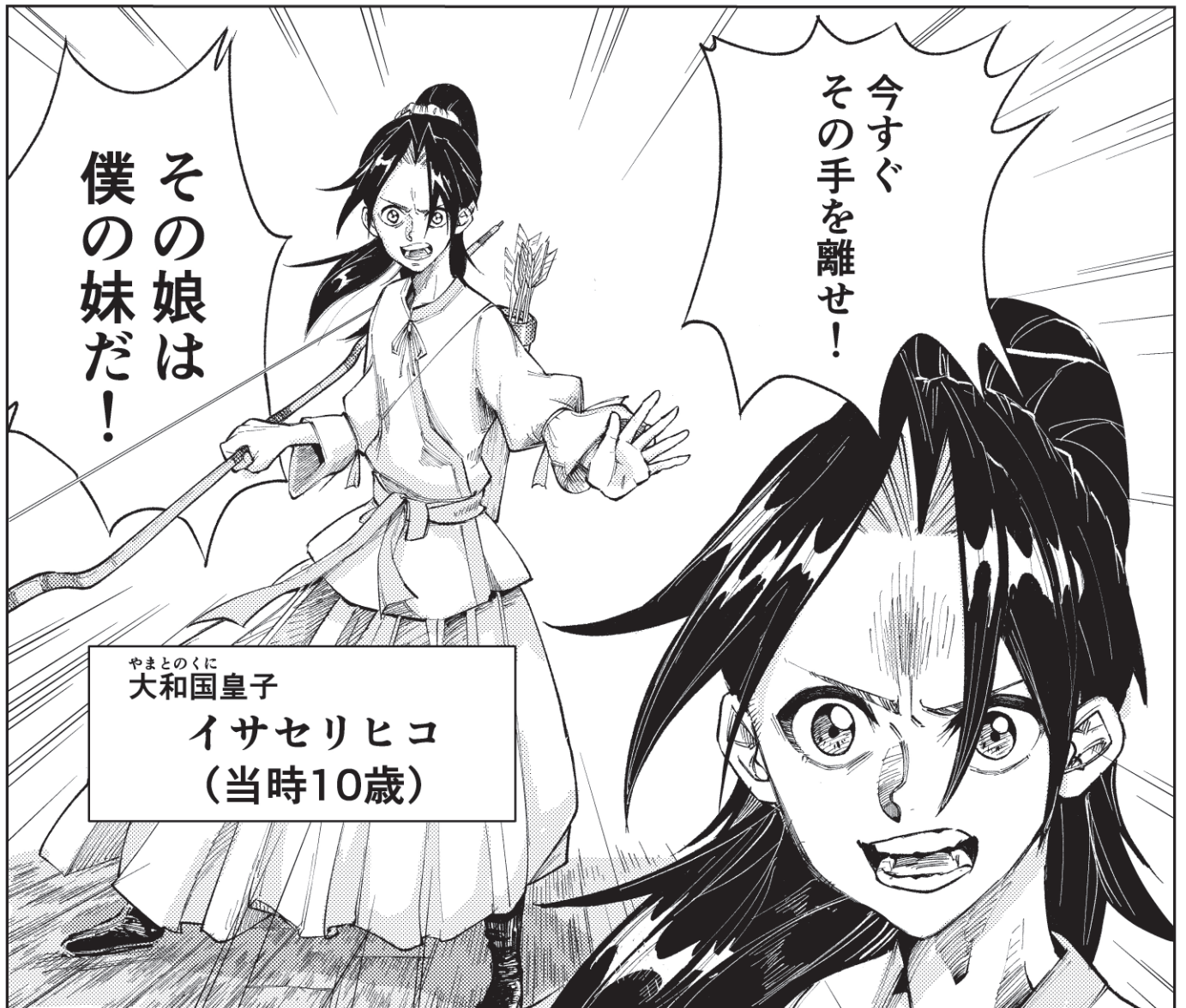
キャアアア

千年前
—
吉備国きびのくに
とある山賊さんぞくの村

お頭かぶ！
人をさらって
きやした！

おお！
こいつは、
天皇の娘
じゃねえか！

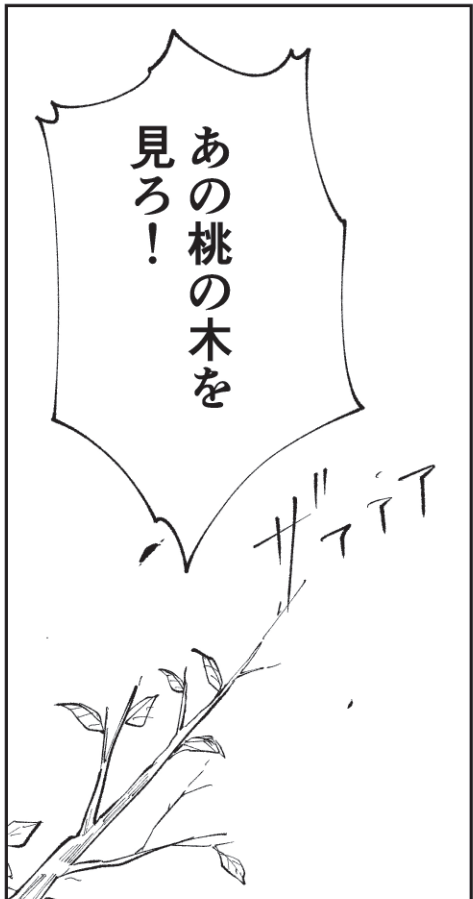
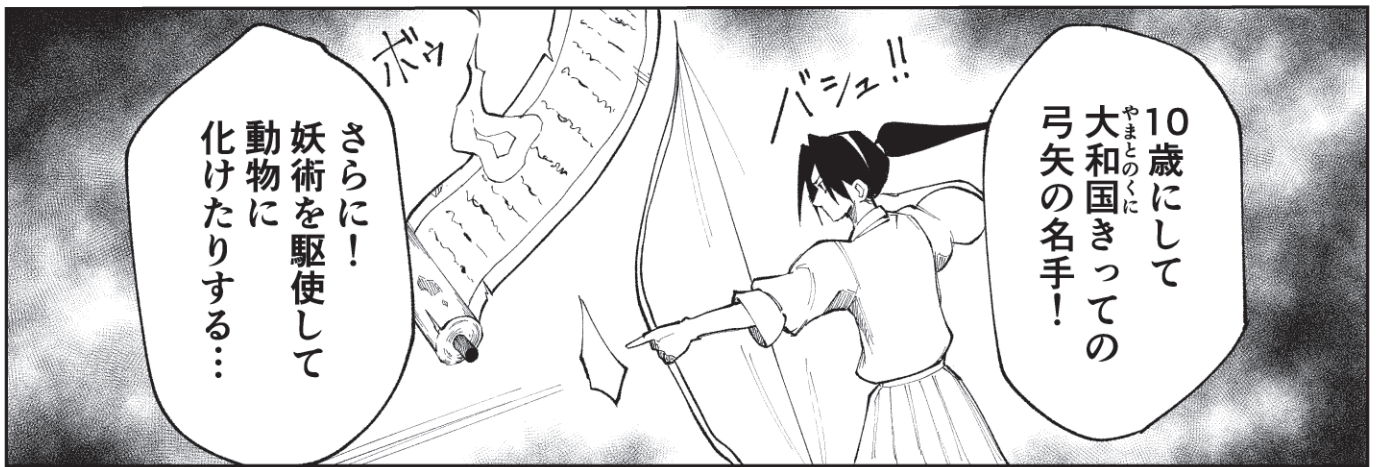
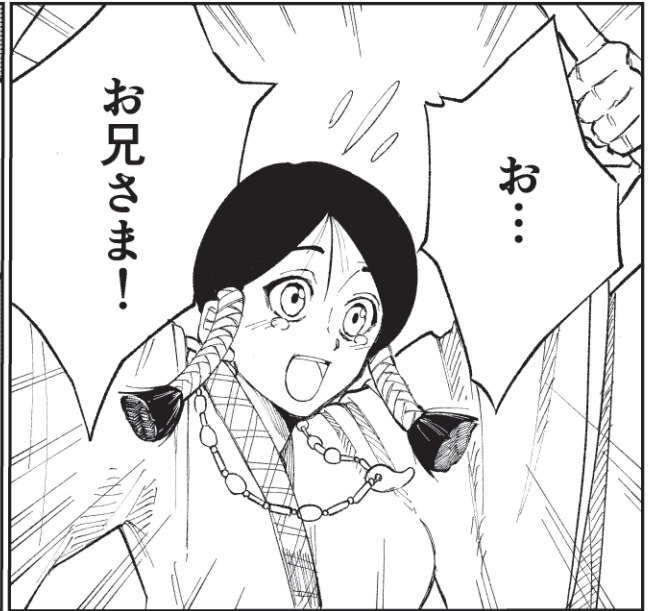
待て！
山賊！



今すぐ
その手を離せ！

その娘は
僕の妹だ！

やまとのくに
大和国皇子
イサセリヒコ
(当時10歳)





あそこに
桃が2つ
なっている。

「右の桃」を
撃ちぬけば、
妹を解放してやろう！

「左の桃」を撃ちぬけば、
お前自身を
解放してやろう！

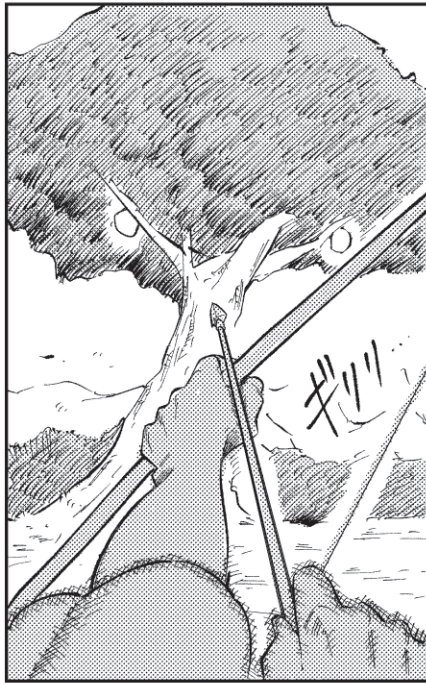


そして

矢を射って
いいのは
1回だけだ！

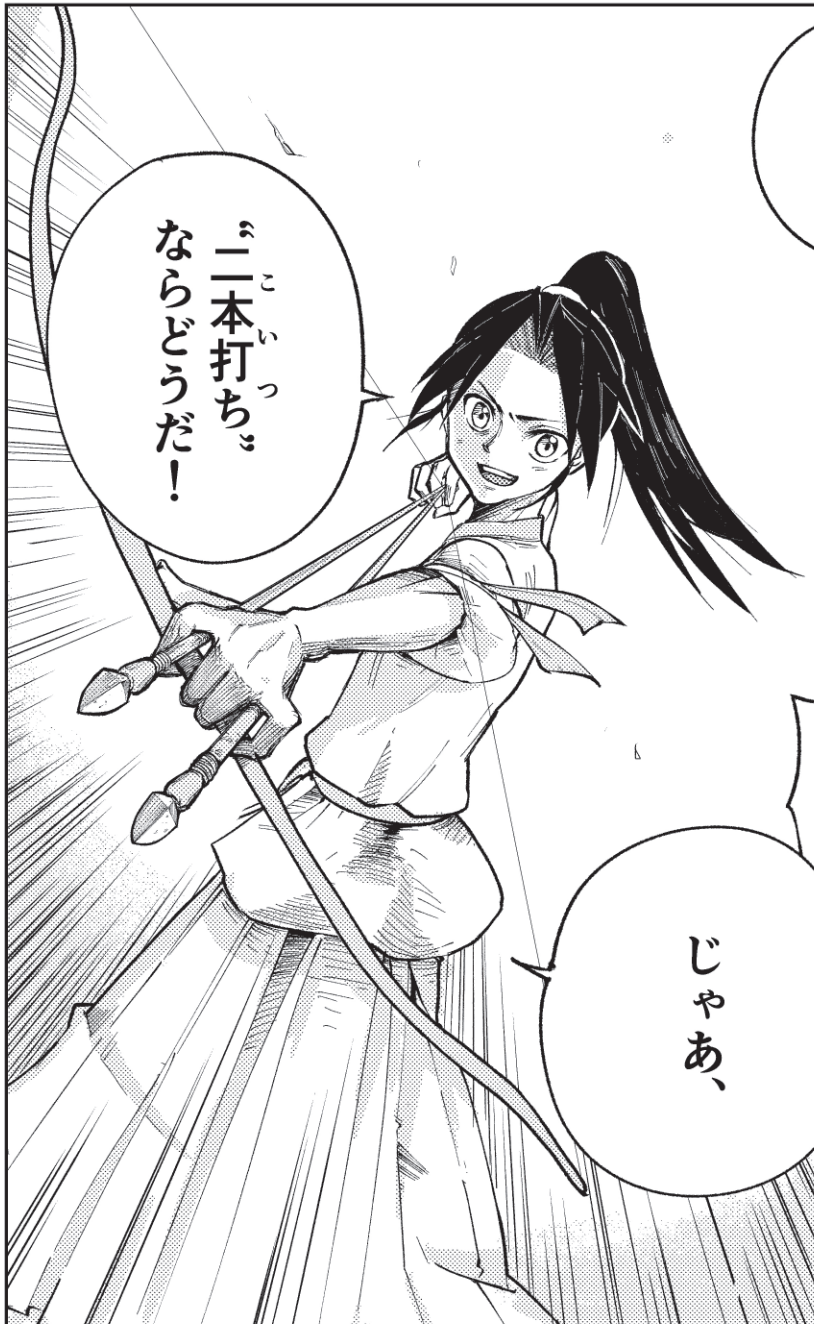


もし
失敗
したら
どうなる
かは、
わかる
よな？



つまり、
無事に帰れる
のは片方だけだ！

さあ、選べ！
妹か！
自分か！



「二本打ち」
ならどうだ！



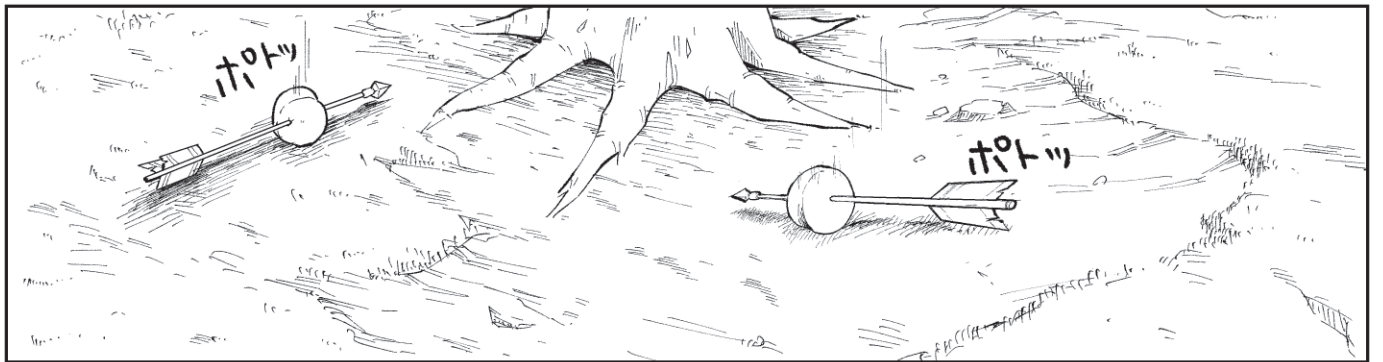
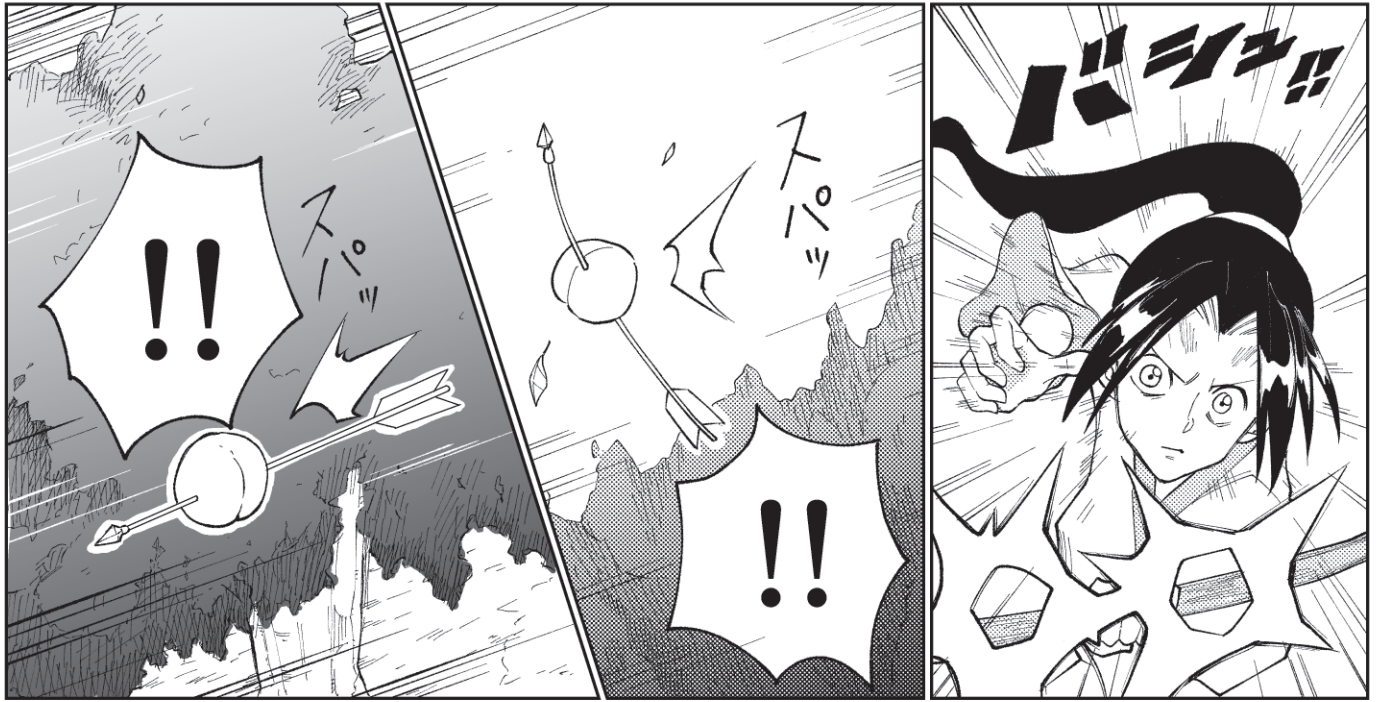
チャンスは
一度きり…

右なら妹…
左なら僕…



どうした？
怖くなったか！
左を射って逃げ
ちまっても
いいぞ…

じゃあ、





吉備国じゃ
桃は神聖なもの
なんじゃ!
困った時、
力を貸して
くれる!
祈って
みるといい

そして、
もう一つは
お守りとして

一つは
やまとのくに
大和国に植えて、
大切に育てました。

懐に
忍ばせて
おきました。



おお、
よくきた
イサセリヒコ

いや、最近皆
お前をこう呼んでいる
そうだな

イサセリヒコの父
こうれいてんのう
孝靈天皇

10
年
後



はい! 父上!

ももたろう
桃太郎

はい!!!

近頃、
鬼たちが吉備国で
村人を襲い悪さを
しているとの噂がある。

オ
オ
オ
中でも、
「温羅」という鬼の頭は、
4メートルを超す巨漢で
とても恐ろしい
形相をしているそうだ。

さらに…温羅は
里の女子供をさらって
釜茹でにして
食っているそうだ…

このまま
野放しにはしておけん。
鬼の退治に
行ってくれないか？

承知いたしました！
必ず鬼を退治して
吉備国の平和を
取り戻します！



桃太郎は、
3人の家来に
「呼び名」を
つけました。

私が「犬」
ですね！
光栄です！

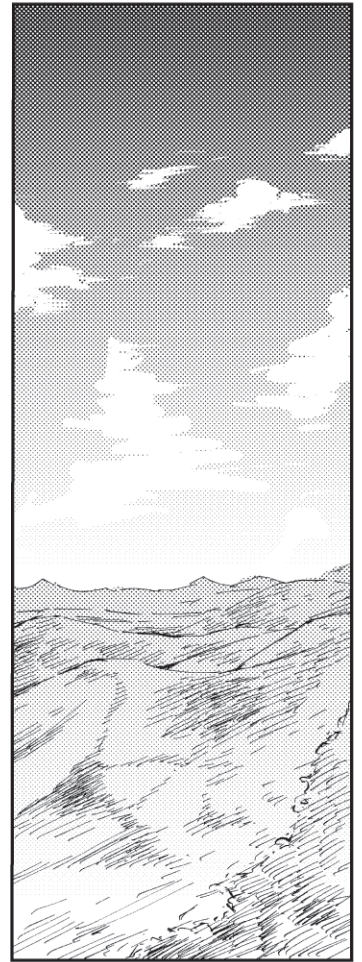
私は、
知恵がきくから
「猿」。

私は鳥使いで
忠誠心があるので
「キジ」…恐れ多い…

とめたまおみ
留玉臣

ささもりひこ
楽々森彦

いぬかいたける
犬飼健



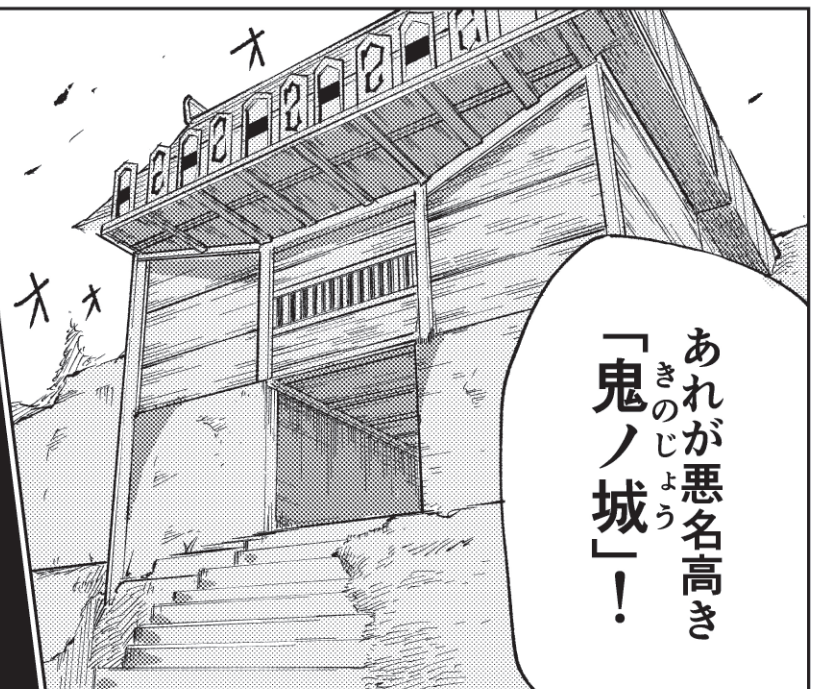
そうこう
している間に
見えましたね
…



うら
温羅さま！

大和国から
「桃太郎」という
者が攻めて
参りました！

何…？



あれが悪名高き
きのじょう
「鬼ノ城」！



桃太郎…？
どこのどいつかは
知らないが…

この温羅に
何の用だ…！

大和の
よそ者め…！

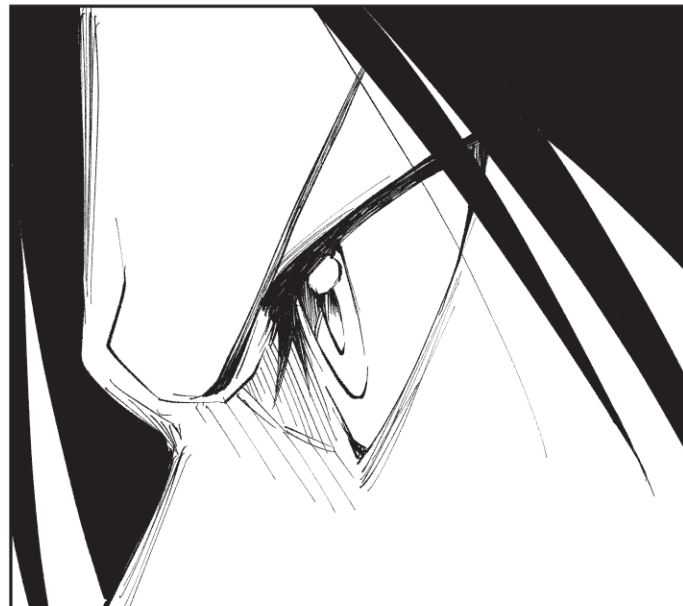
鬼のリーダー
うら
温羅



きびのくに
吉備国から
追い出して
やる！



きびのくに
吉備国の
人々を
苦しめる
悪鬼め！



天皇の勅命ちゆうめいにより
逆賊『温羅』うらを
討伐する！

行くぞ！



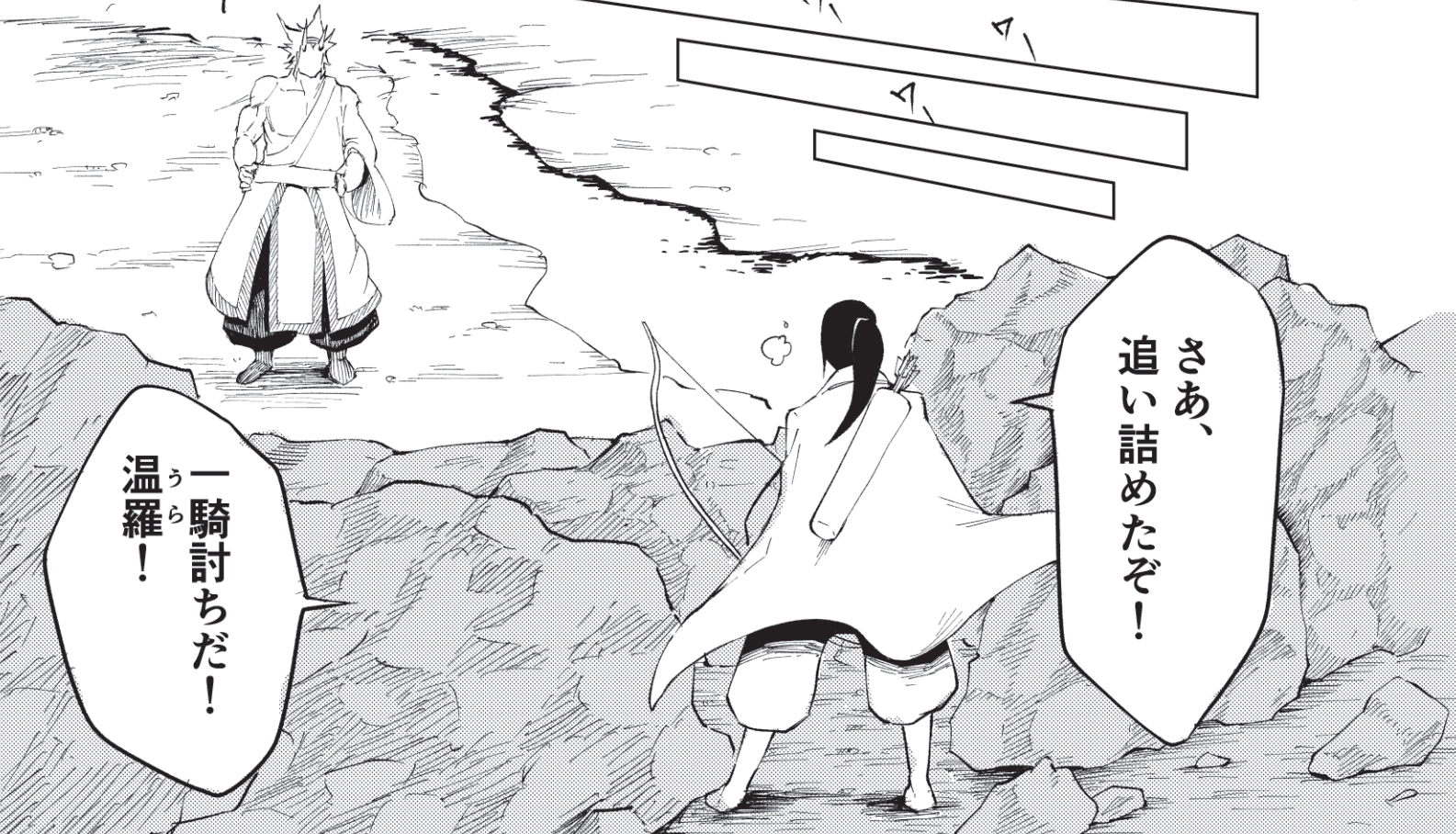
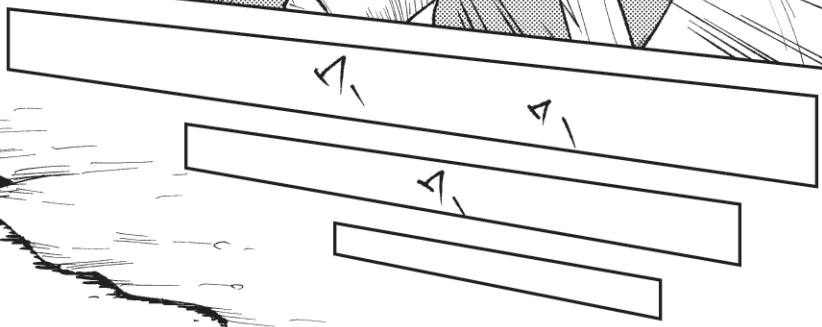
大和ヤマトの小童め…
目にもものを
見せてやる！

迎え打て！

おおおおおお
おおおおおお

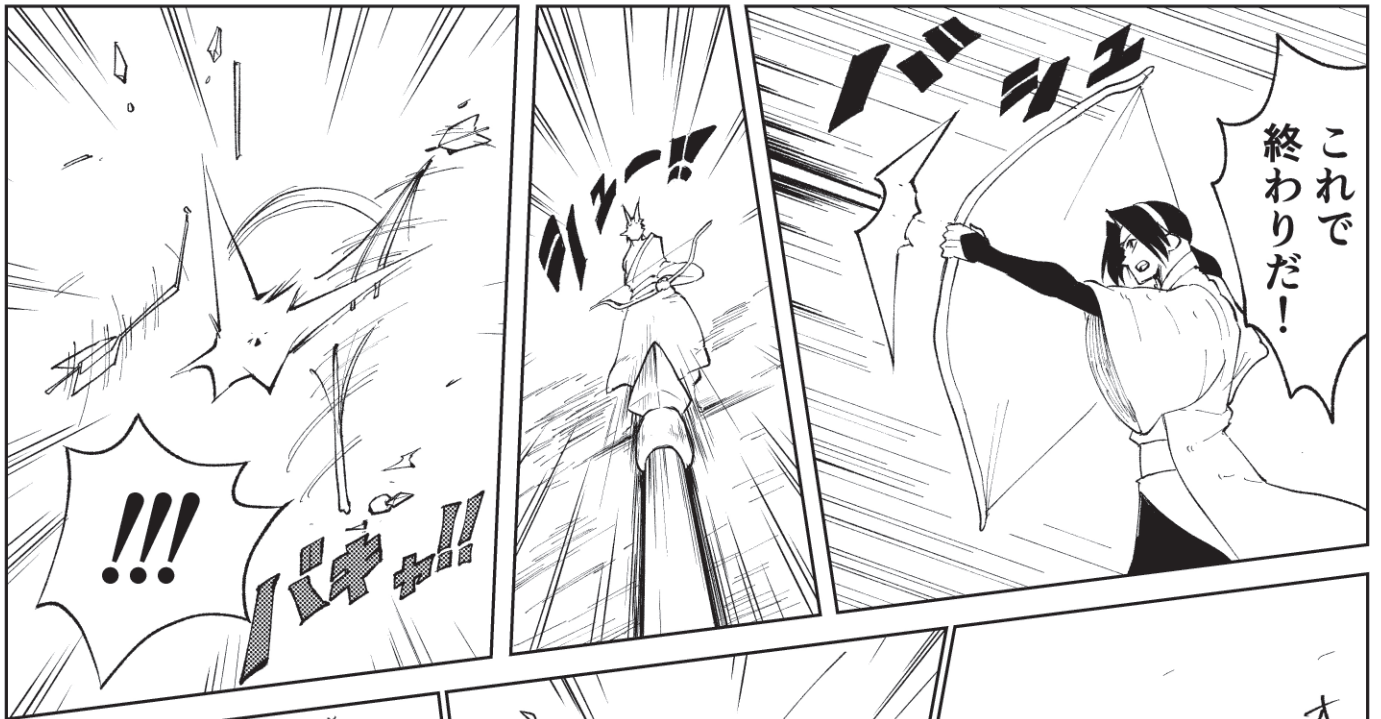


キアアアア



一騎討ちだ！
温羅！

さあ、
追い詰めたぞ！



得意の弓矢を
封じた!

勝負はついた!
さっさと諦めろ!
桃太郎!

大丈夫:
落ち着け:

きびのくに
吉備国じゃ
桃は神聖なもの
なんじゃ!

困った時
力を貸して
くれる!

祈って
みるといい

桃...桃...
ん...?
?

はっ!
そうだ!
あの手がある!

俺に弓矢は
通じない!

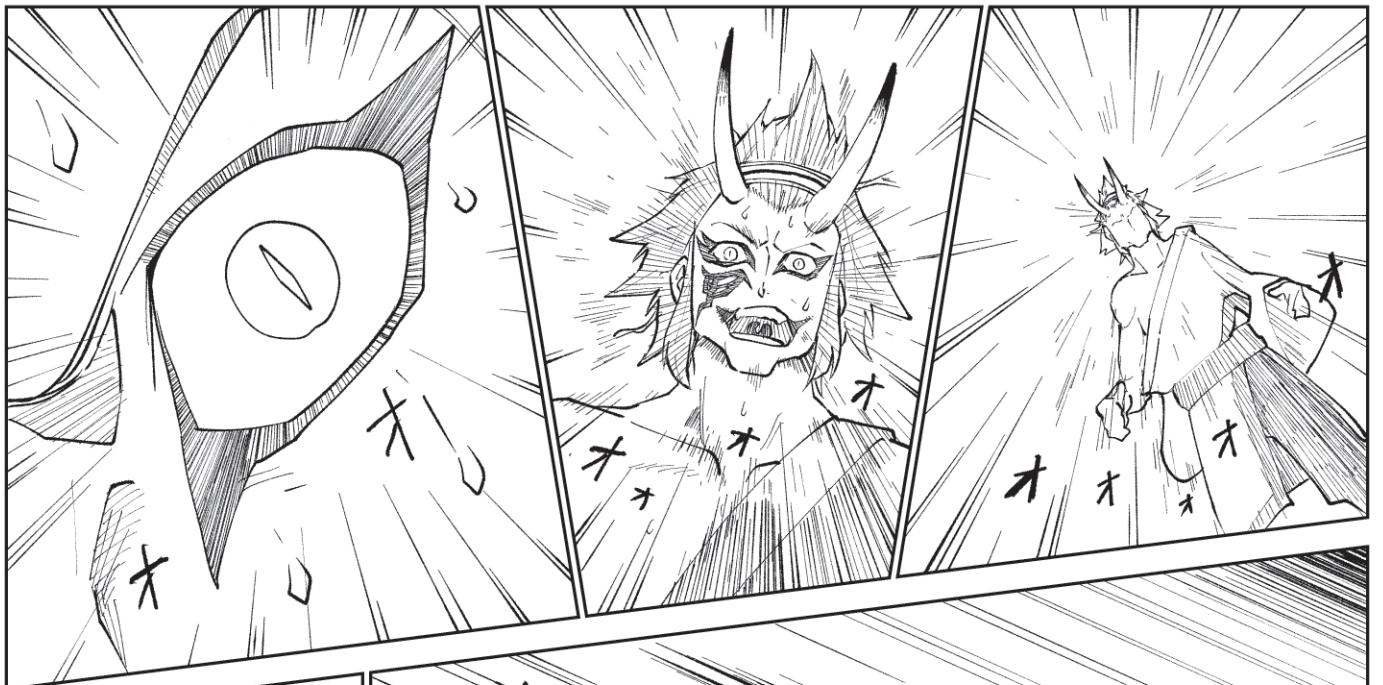
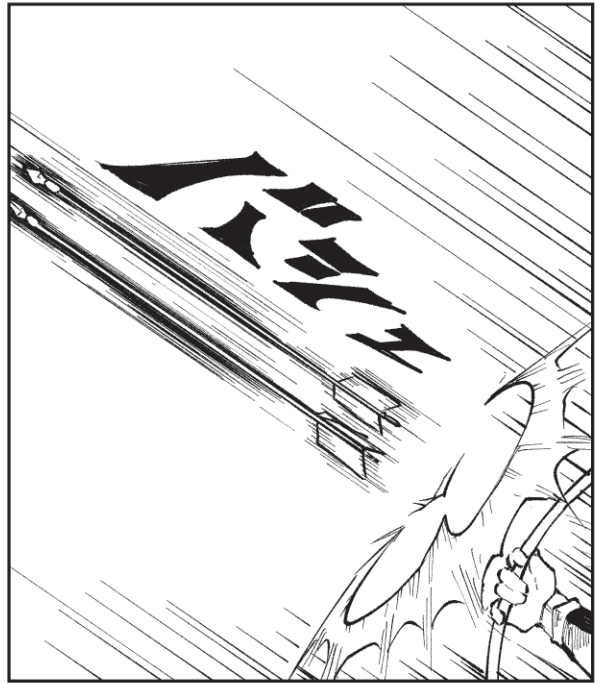
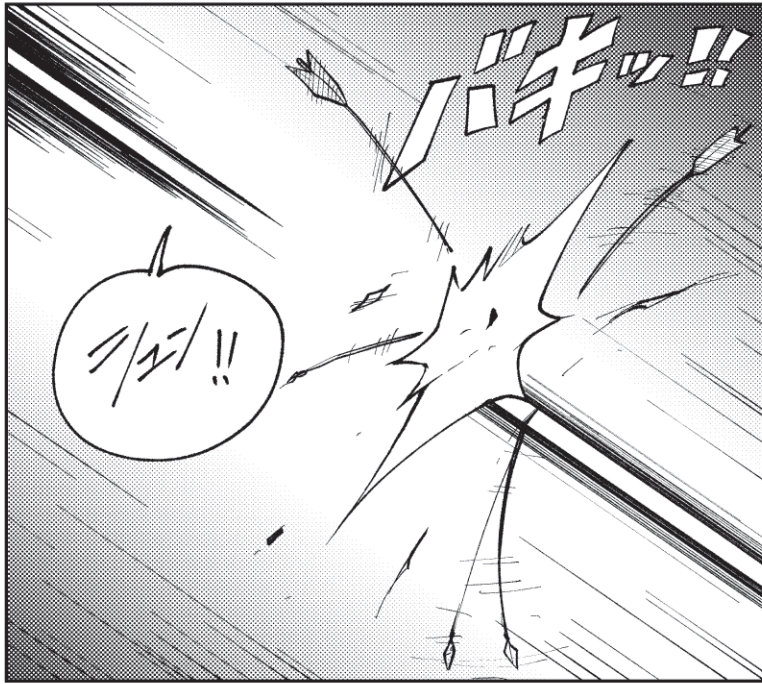
諦めろ!
桃太郎!

弓矢は
通じない
か...

じゃあ...



「二本^{こいつ}打ち」なら
どうだ!!

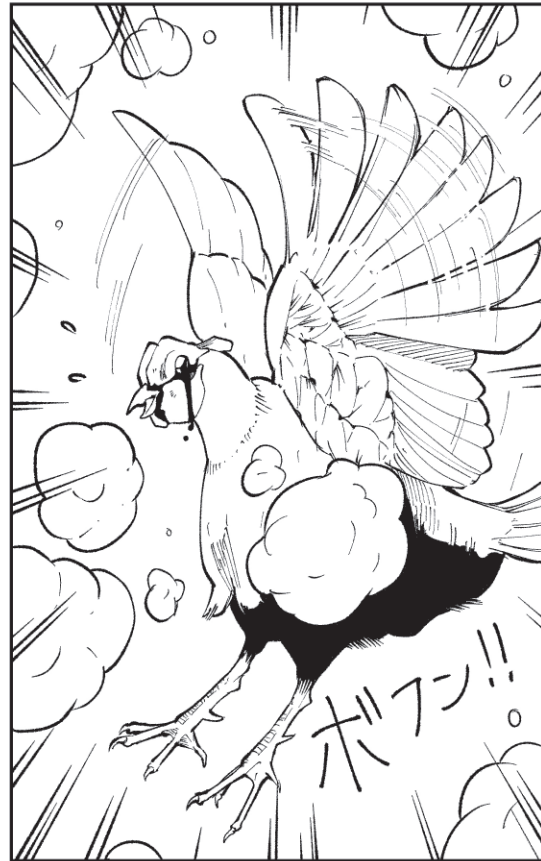




【豆知識】
この時に流れた血は、温羅の
足元の川を赤く染めたという…
この川は『血吸い川』といい、
今も岡山を流れている！



こいつは
まずい！
かくなる上は
……！



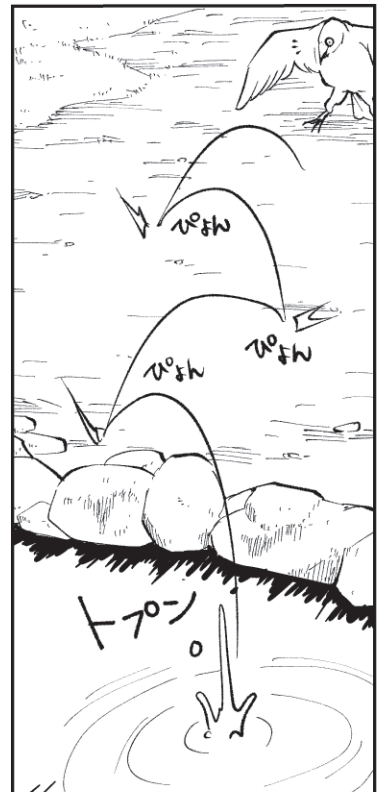
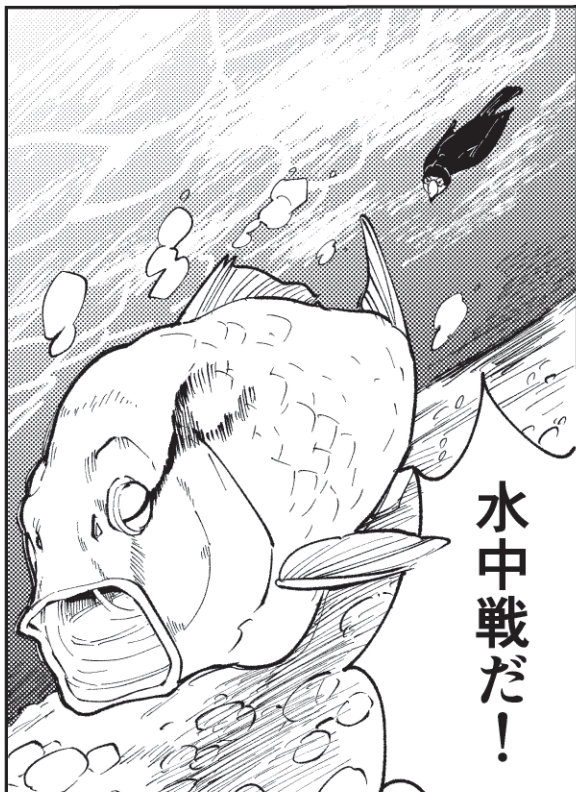
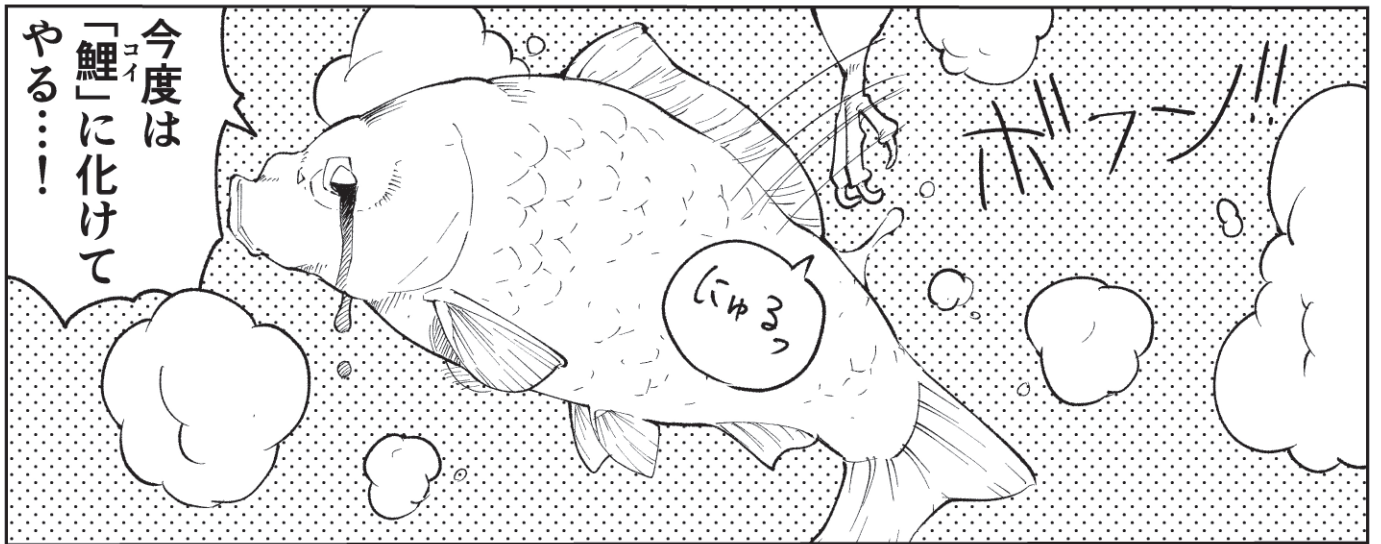
温羅め…！
キジに化けて
逃げた！

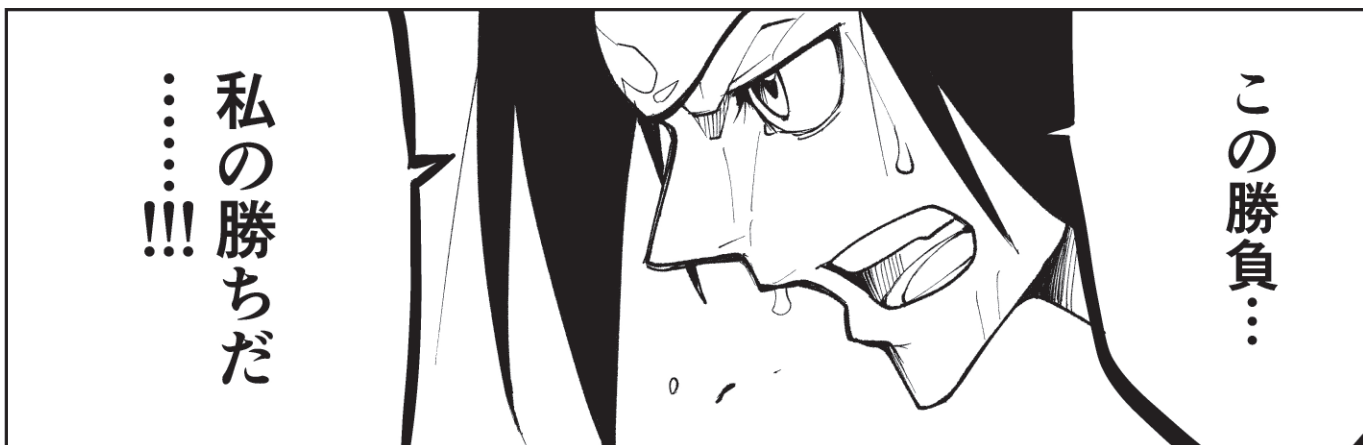
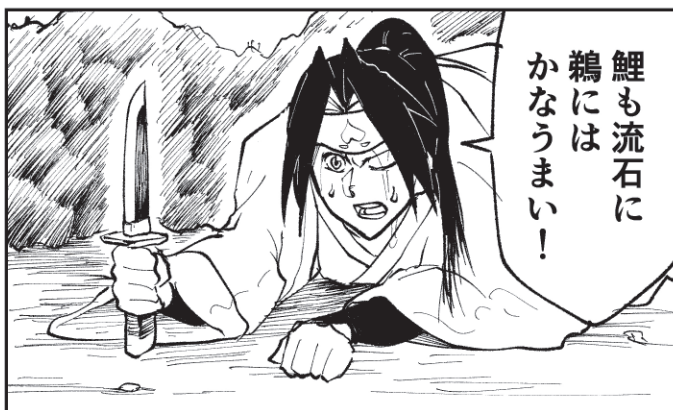
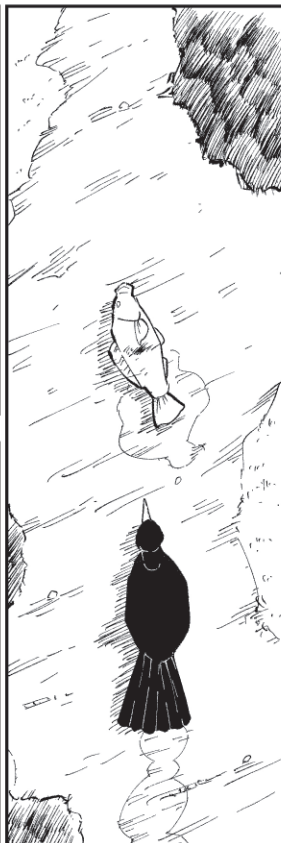


そうは
させるか！
鷹に化けて
追跡だ！



見つけた！





しかし、
温羅は首だけになっても
何年もうめき声を
あげ続けました。

桃太郎は、この祟りを鎮めるため
神社の土かまどの下に
温羅の首を埋葬しました。
しかし、それでもうめき声は
止まりませんでした。

さらに
数年後…

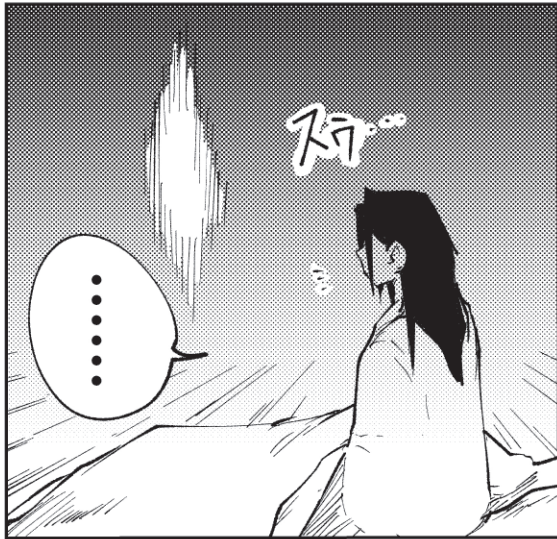
温羅！

桃太郎：
お前に伝えたい
ことがある

俺は、鬼などで
はない。
元は隣国(百濟)の
王だったんだ。
戦に負け、
流れ着いた
のが吉備だった。

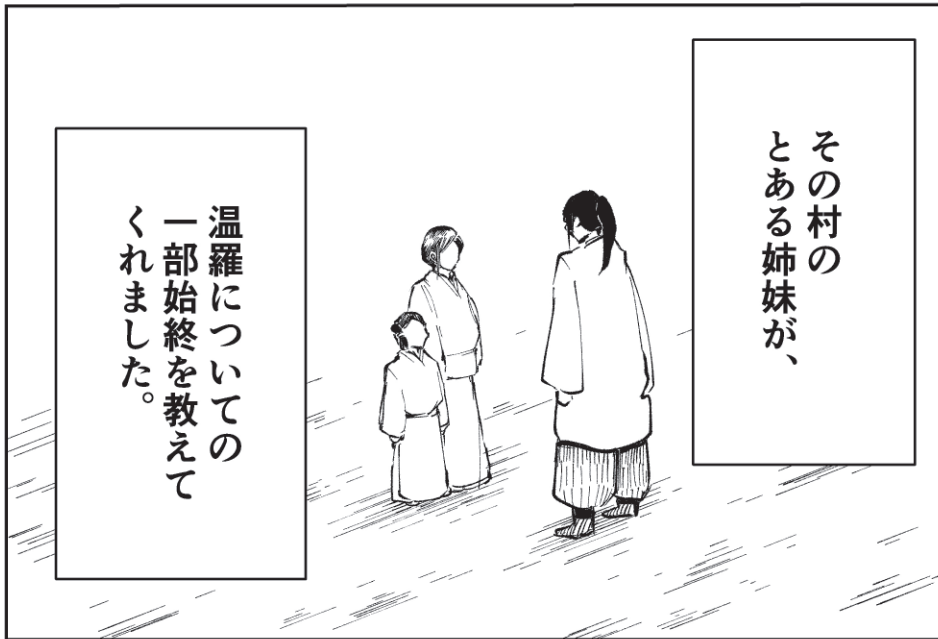
最初、漁師たちから
鬼と間違われ、
暴力を振るわれたんだ…
それであの山に
逃げ込んだのだ…

でも、お前たちは
女子供を攫って
釜茹でにすると
聞いたぞ！



この俺が、
そんなことを
するはずがない！

鬼ノ城の
麓の村(阿曾)に
行ってみろ。

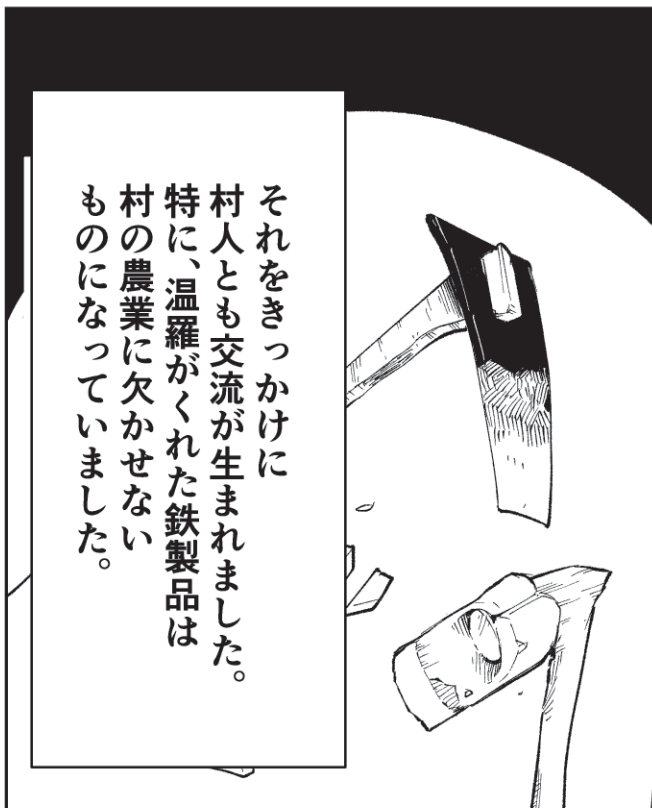


温羅についての
一部始終を教えて
くれました。

その村の
とある姉妹が、



阿曾村



それをきっかけに
村人とも交流が生まれました。
特に、温羅がくれた鉄製品は
村の農業に欠かせない
ものになっていました。



出合いは、ある時、
弟が猛獣に襲われたのを
温羅が助けてくれた
ところからでした。

その後、温羅は
姉の阿曾媛あそひめと結婚し、
吉備国の統治も
行うようになりました。

温羅は、吉備国の人々から
慕われるリーダーに
なっていました。



私は、
なんてことを
してしまった
んだ…

なんて
ことだ…

やっと
気づいてくれた
か…



お前は、
吉備を守るため
俺と戦ったんだ

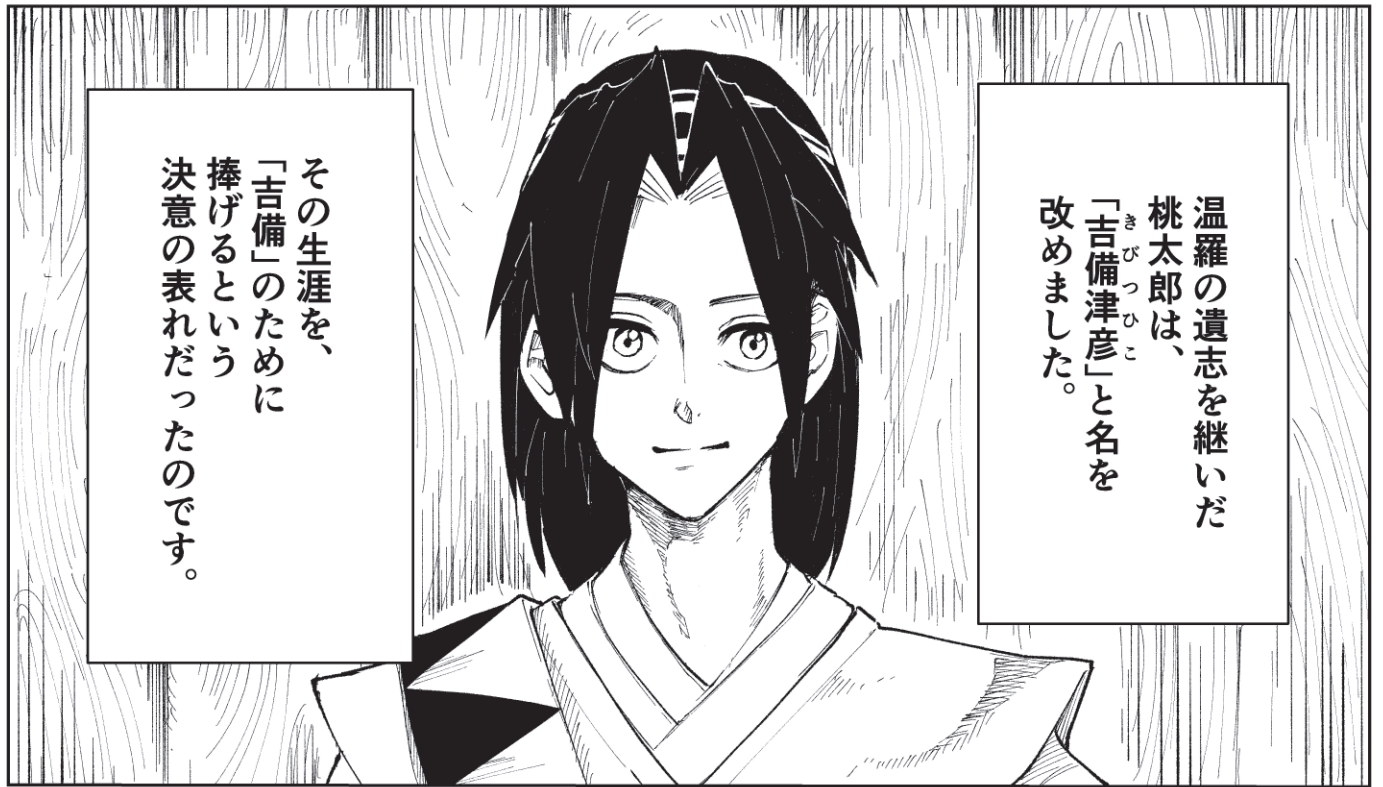
それは、
俺も同じだ

これから
吉備のことは、
お前に任せたぞ。

最後に
一つだけお願いだ。
俺の妻の阿蘇媛を…

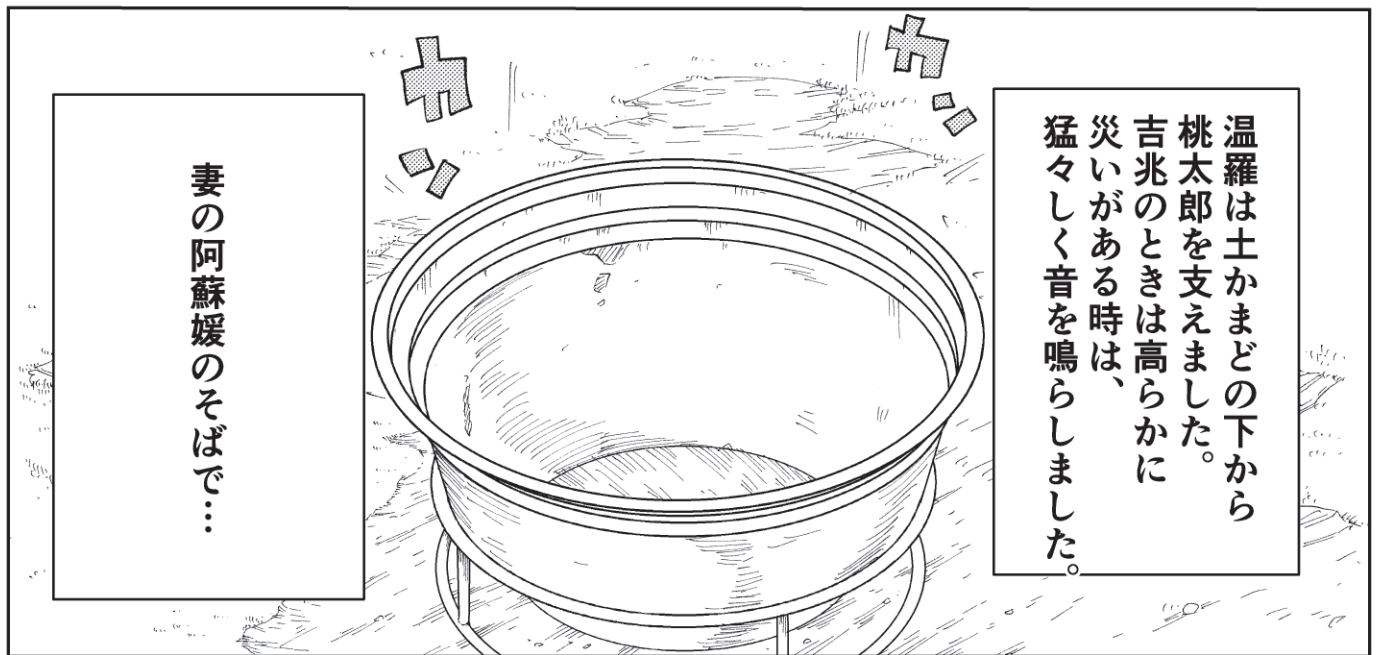
土かまどの火を吹く役に
してくれないか。
そうすれば、妻を近くで
見守ってやれるからな…





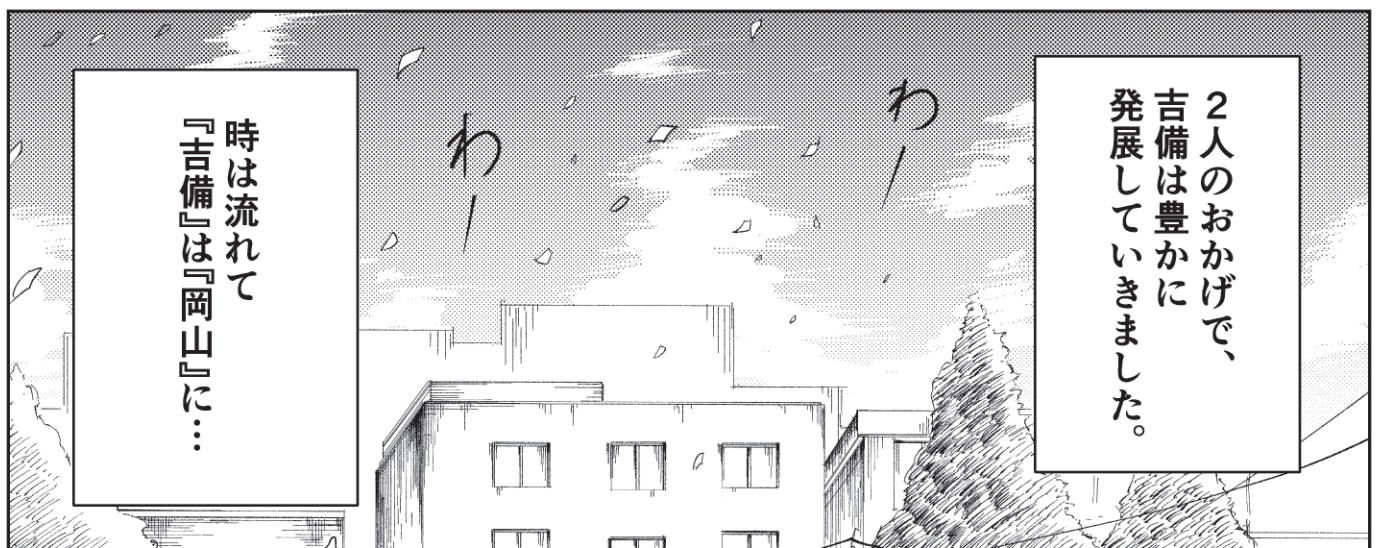
温羅の遺志を継いだ
桃太郎は、
「吉備津彦」と名を
改めました。

その生涯を、
「吉備」のために
捧げるとい
う決意の表れ
だったので



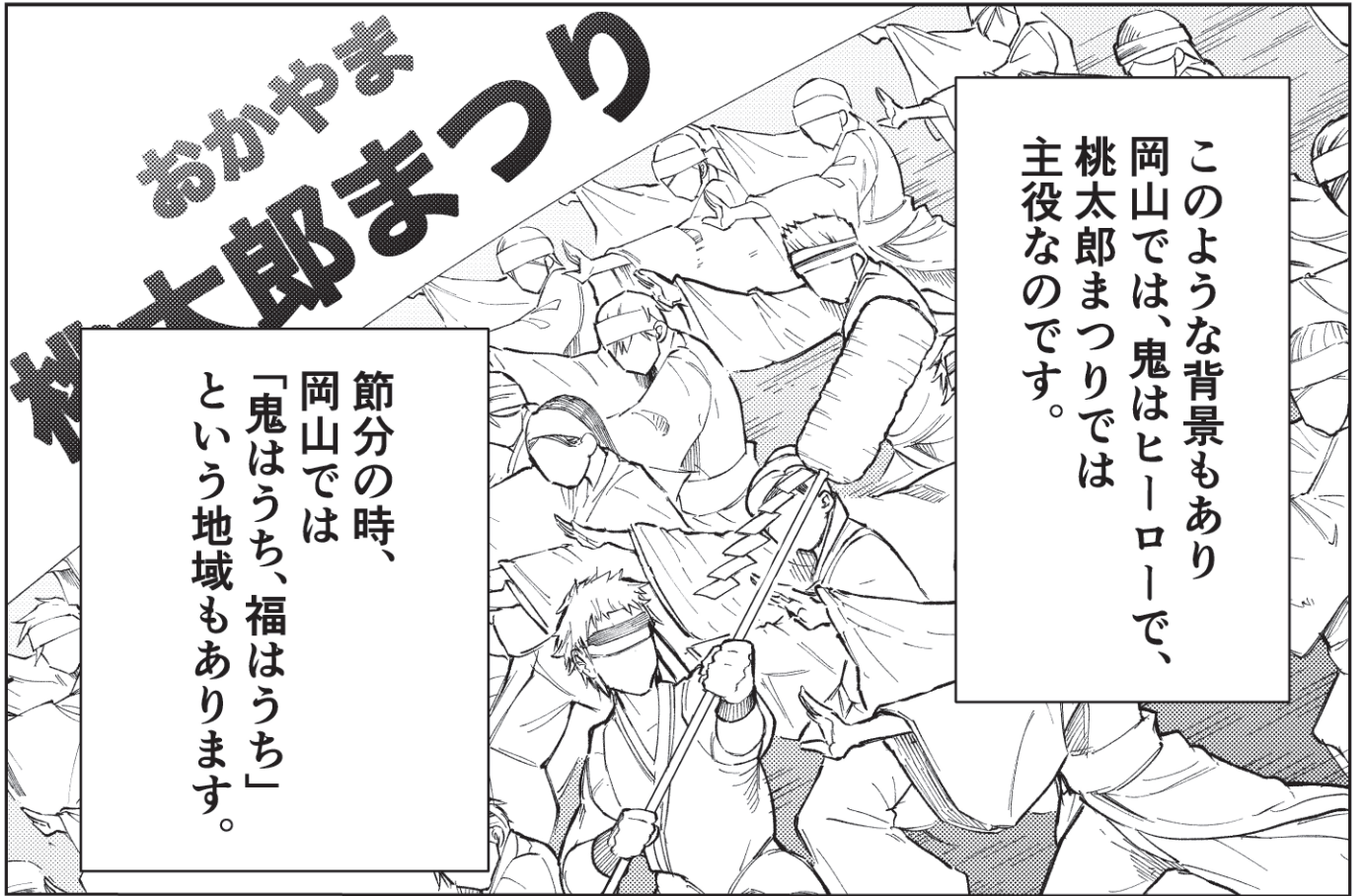
温羅は土かまどの下から
桃太郎を支えました。
吉兆のときは高らかに
災いがある時は、
猛々しく音を鳴らしました。

妻の阿蘇媛のそばで…



2人のおかげで、
吉備は豊かに
発展していきました。

時は流れて
『吉備』は『岡山』に…



おかやま 桃太郎まつり

このような背景もあり
岡山では、鬼はヒーローで、
桃太郎まつりでは
主役なのです。

節分の時、
岡山では
「鬼はうち、福はうち」
という地域もあります。

今回、ご紹介した
「うらじゃ」は、

そんな吉備・岡山の発展を
支えてくれた2人への
感謝を忘れないための
ものなのかもしれません。

おしまい

